

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいたボランティア・NPOセンターにおける相談受付、アドバイザー派遣、講座の実施により、NPOの育成、活動支援ができた。 ・熊本地震での災害ボランティアセンター運営支援を通じて、ボランティア活動の促進とボランティア活動を支える運営体制の強化ができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を担うNPO協働モデル創出事業により、実行委員会方式での8事業を実施、多様な団体・機関が協働して地域課題を解決していく仕組みのモデルづくりが進んだ。 ・「NPO等助成協働プログラム合同説明会」を実施することでNPOと企業との相互理解・マッチングの機会を提供できた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を担うNPO協働モデル創出事業で県民の参加が促進され、NPO活動に対する理解が進んだ。 ・「おおいたNPO情報バンク おんぼ」の運営により、ICTを利用した情報提供・理解が進んだ。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	クリーンロード支援事業	17,998	A	継続・見直し	187
①②	災害ボランティアセンター運営支援事業	6,520	A	継続・見直し	90
②③	地域を担うNPO協働モデル創出事業	26,145	A	継続・見直し	91

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県協働推進会議(H28.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に公的機関、NPO、住民が力を合せて乗り切るために、日常からネットワークができていることが必要。 	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査を活用し、資金や人材を集める方策やNPO間のネットワークづくりなどNPOのニーズに沿った支援を行う。 ・NPOが地域団体や行政等と協働して、多様化する地域課題を継続的に解決するための「地域を担うNPO協働モデル創出事業」を引き続き実施する。 ・効果的かつ継続的にモデル事業を実施するため、9月に中間報告会を実施し、また、事業の成果を他のNPOへ繋ぐ取組を実施する。 ・広報活動を強化しNPO活動に対する県民理解と参加を促進させ、NPO現場体験研修を継続することで行政とNPOとの協働を促進する。 ・災害発生時に円滑なボランティア活動ができるよう、地域におけるネットワークづくりを支援する。